

5月28日：投資家のリスク選考は強まり、ベトナム株は上昇

好調な資金流入が見られた週末のベトナム市場は、VN指数が約17ポイント高と反発した。

ホーチミン市場では、VN指数は1.3%高の1,320.46ポイントで取引を終えた。騰落別では290銘柄が上昇し、124銘柄が下落。47銘柄は変わらずだった。

出来高は高水準で、国内勢は約24兆8,000億ドン（7億6,880万株以上）を買い入れた。

大型株は引き続きマーケット上昇の牽引役となった。VN30指数は1.49%高の1,458.78ポイントで引けた。

同指数組入銘柄のうち、23銘柄が上昇、6銘柄のみ下落した。1銘柄は変わらずだった。

「VN指数は1,285ポイント付近の抵抗線を上抜き、その後は引き続き1,350～1,380ポイントの強力な上値抵抗線を目指している」（投資家向けデイリーレポートでバオベト証券の株式シニアアナリスト Tran Xuan Bach氏）

「だが、目標株価に向かう間に市場では売りが出る可能性がある。業種では幅広い銘柄選別が進み、それぞれのセクターは少しずつ上昇していくだろう」（同氏）

「投資家は自身のポートフォリオのうち、55～65%を株式に割り当てるのが良い。マーケットが変動する時、投資家は短期的な買い増しを検討するかもしれない」（同氏）

銀行セクターは引き続きマーケット上昇の追い風となった。中でも、ベトナム投資開発銀行（BID）は+3.85%と最も上昇した。

テクコムバンク（TCB）、サコムバンク（STB）、ヴィエティンバンク（CTG）もそれに続き1%を超える上昇となった。中でもサコムバンクは+7%とストップ高をつけた。

VPバンク（VPB）、軍隊商業銀行（MBB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム国際銀行（VIB）といった他の多くの銀行株も1%を超える上昇となった。

素材、公益セクターもマーケットの上昇に寄与した。マサングループ (MSN)、ベトナムゴム工業グループ (GVR)、ペトロベトナムガス (GAS) は全て2%を超える上昇となった。

ハノイ証券取引所では、大型株の上昇が追い風となり HNX 指数が 1.97% 高の 310.46 ポイント。HNX30 指数は 3.25% 高の 476.11 ポイントとなった。

売買高は 1 億 7,140 万株以上で、売買代金は 4 兆ドンを超えた。

外国人投資家は両市場 (ホーチミン、ハノイ市場) で買い越した。買い越し金額はホーチミン市場で 172 億 1,000 万ドン、ハノイ市場で 113 億 2,000 万ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。